

# テレメ協ニュース

2012年 春号



## 目次

### ■ 「HEMS 研究部会成果報告」

谷合 洋 . . . 2 頁

### ■ 「スマートメーターの最近の動向について」

迫田 英晴 . . . 10 頁

### ■ 第 8 回韓国ガス展 2012 への出展報告

土屋 十萬紀 . . . 14 頁

### ■ 第 10 回 定例総会模様

### ■ 協議会行事の報告・お知らせ

. . . テレメータリングを社会インフラに . . .

# HEMS 研究部会成果報告

\*谷合 洋

昨年度事業計画の一環として、災害発生時のガス体エネルギーの使命や、今後のエネルギー供給の在り方を意識した上で、HEMS に期待される役割及びその実現に向けてテレメータリングシステムが担う役割等について、本研究部会にて検討し、業界内外に発信しようとの目論見で行って参りました。以下開催状況をご報告申し上げます。

## 1. HEMS 研究部会の開催状況

### ●第1回 平成23年6月28日(木) 13:30~15:30

〈出席者：58名、会場：尚友倶楽部〉

#### ○本研究部会の目的と背景、具体的検討課題、スケジュール等の説明

- ・原則として、毎月研究部会を開催し、2011年度末までに提言をまとめる。
- ・HEMS に関する先進事例の見学会を実施する。

#### ○HEMS 推進に関するアンケートの概要の説明

- ・HEMS の推進に関して研究部会会員ならびにテレメ协会会员を対象としたアンケートを実施する予定であり、アンケートの骨子について審議した。  
(8/上配布、8/31 提出締め切り予定)

### ●第2回 平成23年7月26日(火) 13:30 ~15:30

〈出席者：58名、会場：尚友倶楽部〉

#### ○スマートメーター制度検討会の報告内容についての説明

資源エネ庁 電力・ガス事業部 電力市場整備課 市場制度一係長 遠藤直章氏

- ・エネルギー基本計画にあるとおり、2020年代の可能な限り早い時期に原則全ての需要家にスマートメーターを導入できるよう官民一体となって取り組む。
- ・目標達成が困難な場合は、スマートメーター導入促進に向けた政策的支援及び措置も検討する。
- ・省エネにつながる HEMS、BEMS 等の導入支援策を第3次補正予算で検討する。

○HEMS の推進に関するアンケート案の説明

- ・対象は HEMS 研究部会会員またはテレメ協会会員またはご協力の得られる顧客等とし、8 月上旬にテレメ協事務局からメールで依頼する。回収期限は 8/31 とする。

●第 3 回 平成 23 年 8 月 31 日(水) 13:30 ~15:30

<出席者：64 名、会場：尚友倶楽部>

○ HEMS 事例説明

(1) 「東京ガスの HEMS 取り組み」

東京ガス(株) 商品開発部新価値開発グループチームリーダー 重松 徹氏

(2) 「大阪ガスの HEMS サービス「エネルック PLUS」」

大阪ガス(株) リビング開発部 住宅 IT チーム 日野 登記雄氏

(3) 「パナソニックの環境戦略について」

パナソニック(株) ホームアプライアンス社 情報デバイスビジネス  
ユニット デバイス営業グループ リーダー 斎藤 潤一氏

(4) 「大船スマートハウスのご紹介」

三菱電機(株) N T T 事業部 技術アドバイザー 伊藤 清和氏

- ・商用サービスを実現しているのは、大阪ガス様のみであるが、月 500 円という料金であっても、お客様の意識は無料が当たり前という考えであり、大きなギャップが存在する。そのため、これらのコストを少しでも補填する何らかのインセンティブが必要であること、あるいは、機器の遠隔メンテナンス等の新しいサービスと組み合わせて提供するのが好ましい、との説明があった。
- ・需要家様の省エネ行動を継続させるために、HEMS 画面のコンテンツを工夫して飽きさせない必要がある、との説明があった。

●第 4 回 平成 23 年 9 月 27 日(火) 13:30 ~15:30

<出席者：51 名、会場：尚友倶楽部>

○ HEMS 事例説明

「スマートグリッド・スマートメータ概観および

メガチップスの HEMS に関する取り組みについて」

(株)メガチップス 第 3 事業部 新規ビジネス開拓担当 参与 古村 高氏

- ・各電力センサユニット間は PLC と無線の HYBRID 通信を実施し、無線通信で表示機 G/W に結果表示する仕組みであり、表示機 G/W の中に 30 秒に 1 回のデータを 1 カ月分蓄積可能となっている。現在、市販化の準備中。

○ HEMS に関するアンケート調査結果の説明

・ 研究部会会員・テレメ協会会員等 35 名からアンケートを回収し、とりまとめたものを報告した。

・ HEMS 普及のために各種機能等の標準化が望まれていることから、エネルギー見える化のみの「普及版 HEMS」とソーラーや燃料電池等を組み合わせた「高機能版 HEMS」等について分けて機能等の標準化を検討していく。

その際、「普及版 HEMS」については、新バージョンを含む集中監視システムをベースに検討していくこととし、「高機能版 HEMS」については IP ネットワーク等がベースとなるが、集中監視システムをできるだけ活用していくこととする。

・ HEMS サービスのイニシャルコスト・ランニングコストの負担に対する需要家のコストメリットについて疑問視する意見がある。対策として、HEMS 関連機器等の購入に対する補助金や、ランニングコスト負担に対する各種インセンティブの実現を関連省庁に働きかける。

● 第 5 回 平成 23 年 10 月 25 日(火) 13:30 ~15:30

〈出席者：55 名、会場：尚友倶楽部〉

○ エネルギー管理システム(BEMS・HEMS)導入促進事業の説明

経済産業省 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部

電力市場整備課 係長 遠藤 直章氏

・ 電力需給対策としての BEMS・HEMS についての導入支援事業の概要について説明。

・ BEMS については、15%節電を実現すれば、1/2 補助をする等のスキームを検討中。

○ HEMS 研究部会の今後の進め方についての説明

・ 「類型化」として「普及版 HEMS」のサービス基本機能、標準的なシステム構成の明確化を行う。「高機能版 HEMS」の実現のためのガス体エネルギーのデータ提供等に関する各種条件を整理する。

● 第 6 回 平成 23 年 11 月 29 日(火) 13:30 ~15:30

〈出席者：55 名、会場：尚友倶楽部〉

○ 「スマートハウス標準化検討会」の設置についての説明

経済産業省 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部

電力市場整備課 係長 遠藤 直章氏

・ スマートコミュニティアライアンスの国際標準化 WG の中の EMS-SWG の中に

設置して、具体的なタスクフォースとして、「HEMS タスクフォース」と「スマートメータータスクフォース」で構成する。

- ・年度中にとりまとめ、検討結果は適宜公開する。
- ・後者の事務局が経産省 資源エネ庁 電力市場整備課。

○「普及版 HEMS」のサービス内容・システム構成の類型化検討についての説明

- ・現行集中監視システムならびに新バージョンをベースとした HEMS (エネルギー見える化サービス)のサービス内容・システム構成について整理。

●第7回 平成23年12月21日(水) 13:30～15:30

〈出席者：54名、会場：尚友倶楽部〉

○IEEE802 インターリム会合結果概要説明

東京ガス(株) 商品開発部通信

メーター開発グループチームリーダー 市村 順一氏

- ・9/19～23に沖縄コンベンションセンターで開催された IEEE802 インターリム会合の Tutorial における集中監視システム新バージョンの標準化についてのプレゼンならびに Exhibition における新バージョンの検針デモ等の実施状況等について報告があった。

○「スマートハウス標準化検討会」の中間報告についての説明

経済産業省 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部

電力市場整備課 係長 遠藤 直章氏

- ・①HEMS～家庭内機器、②HEMS～スマートメーター間のインターインターフェース標準化を推進していくため、11/7に「スマートハウス標準化検討会」第2回会合を開催し、中間報告を行った。
- ・「HEMS タスクフォース」と「スマートメータータスクフォース」を設置して検討中であるが、「HEMS タスクフォース」からは公知な標準インターフェースとして ECHONET Lite が推奨された。「スマートメータータスクフォース」からは①電力会社等から提供されるデータフォーマットを統一すること、②情報連携のための通信ミドルウェアとして、ECHONET Lite に準拠する方向で検討を進めること、等について報告があった。
- ・2012年2月の最終とりまとめを目指す。

○ エコーネットの概要

エコーネットコンソーシアム 運営委員長 平原 茂利夫氏

- ・ ECHONET Lite 規格は 2011/6 に完成。創・蓄エネ機器に対応したオブジェクトの規格化も完了。伝送メディアに関しては規定せず通信処理部のみを規定しており国内外のホームネットワーク規格相互乗り入れが可能であること、等が特徴。2012 年中に国際標準化完了予定。
- ・ ①ECHONET Lite 規格、②ECHONET 機器オブジェクトの詳細規定が 12/22 よりエコーネットホームページでダウンロード可能となった。
- ・ エコーネット製品の商品化にはエコーネットへの加入が必要。

○ スマートメータータスクフォースに関する意見要望について

- ・ ガス、水道等のトータルのエネルギーマネジメントシステムの実現を目的とした標準化を推進頂きたいこと、ガス体エネルギーについても補助やインセンティブの対象として検討頂きたいこと等、テレメ協としての意見要望案を提案し、経済産業省 資源エネルギー庁 遠藤係長様に持ち帰り検討頂くこととなった。

○ 高機能版 HEMS の類型化の進め方について(案)

- ・ 「高機能版 HEMS」のサービス基本機能、構成要素、今後の検討の進め方等について提案説明を行った。
- ・ 「高機能版 HEMS」の類型化については、「スマートハウス標準化検討会」の動向を見据えつつ、連携を図り類型化を推進する。

● 第 8 回 平成 24 年 1 月 24 日(火) 13:30 ～15:30

〈出席者：63 名、会場：尚友倶楽部〉

○ 第 8 回 GAS KOREA 2012 への参加企画概要説明

テレメタリング推進協議会 専務理事 土屋 十萬紀氏

- ・ 2/27～29 にソウル貿易コンベンションセンターで開催される第 8 回 GAS KOREA 2012 で、テレメ協の「集中監視システム新バージョン推奨仕様」の PR(展示とプレゼン)、テレメ協の PR を行う予定。
- ・ 出展支援と協賛金の支援等の募集説明があった。

○ Uバス-ECHONET Lite 対応例(案)の説明

- ・ 4つの対応案について説明。どの方式を採用するかは、経済産業省スマートハウス検討会の検討状況も見据えつつ、継続検討することとした。

- 普及版 HEMS のサービススキームならびに導入メリット等について(案)の説明
  - ・普及版 HEMS のサービスは A ルートを利用するサービスとする。
  - ・お客様のインターネット回線を利用して、PC 等で見える化表示する。
  - ・ガス集中監視に係るコストはガス販売事業者が負担し、エネルギーの見える化に係る費用を需要家様に負担して頂く。
  - ・ガスのみの見える化と、ガス・電気の見える化の 2 種類を用意して、前者のサービス料金を月 200 円程度、後者を月 500 円程度と想定。これらは、アンケート結果や NTT 東日本の「フレッツ・ミルエネ」のサービス料金等を参考とした。
  - ・需要家様のコストメリットを試算したところ、ガス+電気の利用料が毎月 15000 円程度以上でかつ、見える化による節減割合が 10%程度確保できる場合、需要家様のイニシャルコストの一時負担を含めても、数年でコスト回収できる見通しである。
  
- 既存システムでの電力量計測についての説明
  - ・パルス出力付きの電力計からの信号を集中監視システムで計測する方法について紹介した。

●第 9 回 平成 24 年 2 月 23 日(水) 13:30 ~15:30

<出席者：58 名、会場：尚友倶楽部>

- 「スマートハウス標準化検討会」とりまとめの公表についての説明  
経済産業省 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部  
電力市場整備課 係長 遠藤 直章氏
  - ・「スマートハウス標準化検討会」とりまとめの公表が、2 月 24 日に実施されることについて報告があった。
  
- U バス-ECHONET Lite 対応例(案)の説明
  - ・前回説明の 4 つの対応案について、HEMS 端末と AP(ホームネットワークアクセスポイント)を別筐体として再構成したものを説明した。
  
- 普及版 HEMS 実証実験概要の説明
  - ・鹿児島県与論島で NTT テレコン・高圧ガス保安協会が共同で平成 23 年 10 月～平成 24 年 1 月に実施した LP ガスの使用量見える化「普及版 HEMS」実証実験の概要について報告した。
  - ・実験に協力頂いた 10 世帯平均で昨年同月と比較して、約 14%の LP ガス使用量

の節減が見られた。

- ・アンケート調査によると、望ましいサービス料金としてガスのみ「見える化」で月額 235 円、ガス・電気等の「見える化」で月額 580 円と第 8 回研究部会のコストシミュレーション結果とほぼ同等の意見であった。

また、閲覧頻度が少ないという課題が判明し、電力使用量の見える化等の魅力的なソフトの実現や「見える化」アプリの立上げ方法の変更等を行う必要があると考えられる。

- 普及版 HEMS の推進方法とインセンティブについて(案)の説明
  - ・普及版 HEMS の推進方法として、HEMS 研究部会で検討してきた内容を取りまとめて、テレメ協ホームページ等で公開することとした。
  - ・とりまとめの目次案を資料で説明するとともに「普及版 HEMS の類型化について」の資料案について、スライドで説明した。
  - ・インセンティブ案として、各種の地域独自のエコポイント制度との連動や HEMS 機器を家電エコポイントの対象とすること、等について提案した。

●第 10 回 平成 24 年 3 月 27 日(水) 13:30 ~15:30

〈出席者：54 名、会場：尚友倶楽部〉

- 第 8 回 GAS KOREA 2012 出展報告  
テレメータリング推進協議会 専務理事 土屋 十萬紀氏
  - ・2012 年 2 月 27 日(月)~29 日(水)、韓国 ソウル貿易展示コンベンションセンターにて、韓国を中心としたガス関連事業者 58 社が集い開催された。
  - ・テレメ協から 10 名参加し、集中監視システム新バージョンのデモ展示等を行うとともにセミナーにてプレゼンを実施した。
- スマートグリッド展 2012 出展についての説明  
テレメータリング推進協議会 専務理事 土屋 十萬紀氏
  - ・2012 年 5 月 30 日(水)~6 月 1 日(金)、東京ビックサイトで開催される。
  - ・テレメ協から集中監視システム新バージョンのデモ展示・普及版 HEMS のデモ展示等を行う予定。
- Uバス-ECHONET Lite 対応例(案)の説明
  - ・経済産業省のスマートハウス標準化検討会の取りまとめ結果の発表(2012 年 2 月 24 日)を受けて、B ルートを速やかに実施する必要がある場合、前回説明の案 4 を推奨することとするが、将来的には、IP 準拠・ECHONET Lite 対応の B ルート向け新 U バスエア方式について、必要により次年度研究部会で技術



検討することとした。

○ HEMS 研究部会の活動内容のとりまとめ(案)

- ・ HEMS の推進方法として、HEMS 研究部会で検討してきた内容をとりまとめて、テレメ協ホームページで公開する方法等について整理するとともに公開する内容について、とりまとめ説明した。
- ・ 「普及版 HEMS の類型化」として、コストシミュレーションの前提条件の表現方法やシミュレーション結果の表現方法等を一部修正した。
- ・ 「高機能版 HEMS の類型化」として、高機能版 HEMS は B ルートが主体となるサービスであること、高機能版 HEMS の事例研究として 5 社の事例を検討したこと、経済産業省のスマートハウス標準化検討会の結果を踏まえ詳細な類型化については今後の課題としたこと、等を明記した。

- 次年度研究部会の取組として、2 月 22 日にテレメ協理事会に提案了承された内容について報告した。具体的には、新バージョン各種端末仕様に関する研究会ならびに、U バスエアの周波数移行に伴う仕様修正等、を実施することを説明した。なお、研究部会会員の募集については、テレメ協土屋専務理事より別途案内予定。

2. HEMS 関連見学会の開催状況

● 第 1 回 平成 23 年 7 月 8 日(金) 15:00～17:00

〈出席者：29 名、場所：東京ガス(株) 千住ステーション〉

- 「暮楽創ハウス」「水素ステーション」の見学

● 第 2 回 平成 23 年 8 月 3 日(水) 14:00～15:15

〈出席者：28 名、場所：パナソニックセンター東京 有明〉

- 「エコアイデアハウス」「他の展示コーナー」の見学

以上

\* HEMS 研究部会事務局  
(NTT テレコン(株) 技術開発部長)

## スマートメーターの最近の動向について

\* 迫田 英晴

### はじめに



我が国において省エネ・低炭素社会を実現していくためには、需要家が自らのエネルギー情報を把握、利用することで、省エネ意識を高め、各々の行動変化を促すことが重要である。スマートメーターの導入により、提供されるエネルギー使用状況を活用した新しいサービスの創出による国民の生活の質の向上、さらには関連事業の創出による経済の活性化（グリーンイノベーション）等も期待されている。

東日本大震災後の電力需給の逼迫を背景に、スマートメーターから得られる詳細な電力使用情報の把握・活用や、価格機能の活用により需要家の行動変化を促し電力需要の抑制・負荷平準化を行う「デマンドレスポンス」について、一層関心が高まっている。平成23年7月にエネルギー・環境会議がとりまとめた「当面のエネルギー需給安定策」においては、電力需給逼迫への主な対策として、「スマートメーターの導入促進及びそれを活用した需要家に対するピークカットを促す料金メニューの普及」が掲げられるとともに、エネルギー基本計画における目標を前倒し、「今後5年以内に総需要の8割をスマートメーター化する」という方針が示された。

本日は、スマートメーターをめぐる最近の動向として、エネルギー・環境会議における議論、スマートメーターの導入加速化に向けた取り組みとともに、経済産業省で実施した負荷平準化機器導入効果実証事業の結果を紹介したい。

### 1. これまでのスマートメーター制度検討会における議論

経済産業省では、平成22年5月に「スマートメーター制度検討会」を立ち上げ、家電メーカー、情報通信事業者及び学識経験者等の関係者により議論を行い、基本要件や今後の取り組み等について、平成23年2月に報告書を取りまとめた。当該報告書においては、我が国が普及を目指すべきメーターを、電力使用量を計量して当該情報を電力会社及び需要家に提供する、いわゆる「狭義のスマートメーター」とし、当該メーターが満たすべき基本要件や、電力会社・政府等における今後の取り組み等について整理を行った。

#### <スマートメーターの要件及び情報の取扱>

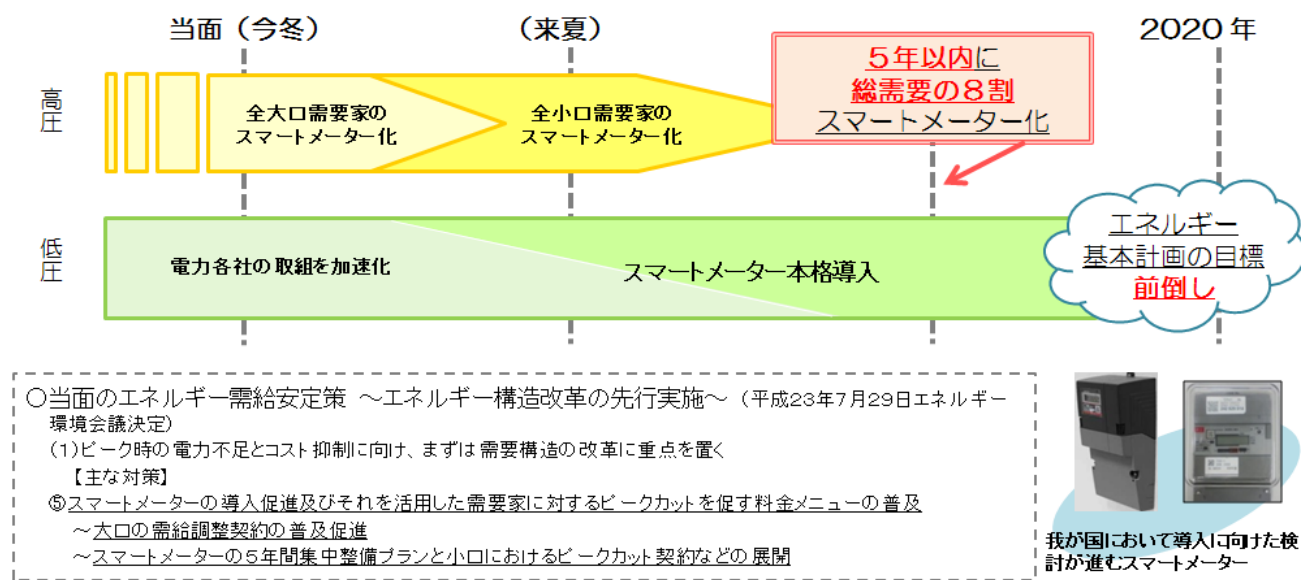
##### ○ スマートメーターが満たすべき要件

- ・ 機能：遠隔検針、遠隔開閉
- ・ 情報（=電力等使用情報）：電力使用量、逆潮流値、時刻情報、粒度（測定間隔）は30分値（※ガスは使用量、時刻情報、粒度は1時間値）
- ・ 情報の提供先：需要家及び電力・ガス会社双方
- ・ 情報提供のタイミング：現時点では原則翌日まで

## 2. エネルギー・環境会議における議論

すでにご承知のとおり、東日本大震災以降の電力需給の逼迫を背景に、電力使用状況の見える化や、柔軟な電気料金メニューを実現するデマンドレスポンスのツールとしてのスマートメーターの機能に期待が集まっている。

昨年7月にエネルギー・環境会議で決定された「当面のエネルギー需給安定策」で、「スマートメーターの導入促進及びそれを活用した需要家に対するピークカットを促す料金メニューの普及」「今後5年以内に総需要の8割をスマートメーター化する」という方針を打ち出すとともに、昨年11月に決定した「エネルギー需給安定化行動計画」においては、(1)今後5年間で、総需要の8割をカバーすることを目標に電力会社が集中整備を行うよう、政府として制度的な枠組みを構築すること、(2)スマートメーターの導入加速化に資するため、①スマートメーターとHEMSとの情報連携に必要なインターフェースの標準化、②その前提となる電力各社等から提供されるデータフォーマットの統一を23年度中に行うこと、③電力会社において、スマートメーターも活用しつつ、需給動向も踏まえて時間帯区分を見直すなど、柔軟な料金メニューの創設・拡充を図ることなどが掲げられた。



## 3. スマートメーターの導入加速化に向けて

### (1) スマートメーターとHEMSとの情報連携に必要なインターフェースの標準化

エネルギー・環境会議における決定を受けて、経済産業省は昨年11月に、「スマートハウス標準化検討会」を官民合同で立ち上げるとともに、本検討会の下に「スマートメータータスクフォース」を設置し、スマートメーターとHEMSとのインターフェースの標準化に向けた検討を開始し、短期集中の議論を経て、今年2月、標準インターフェースとして **ECHONET-Lite** を推奨すること、今後、日本版スマートハウスの普及拡大に向けた機器・システムごとの工程表を策定することなどがとりまとめられた。

### (2) スマートメーターの導入加速化のための制度的枠組み

スマートメーターを今後5年以内に総需要の8割まで集中整備するとの政府目標に向け、電気

事業者によるメーターの加速的な導入を制度的に担保する観点から、需要家への情報提供等、電気事業者が需要家のピーク対策を支援する仕組みの準備等について省エネ法上の措置を検討している。また、スマートメーターを含む新型電子式計器に係る検定手数料を引き下げるべく検討を行っており、パブリックコメント（本年2月に実施）を経て、今夏を目途に政令改正を予定している。

### （3）電気料金制度・運用の見直しに係る有識者会議における議論

「電気料金制度・運用の見直しに係る有識者会議」においても、デマンドレスポンス料金とスマートメーターの導入について議論が行われ、今年3月にとりまとめられた報告書では、

1. スマートメーターの普及には一定のリードタイムが必要となることから、欧米と同様の柔軟な料金メニューを直ちに導入することは困難ではあるが、各一般電気事業者が、スマートメーターがなくとも対応可能な範囲において、需要家の受容性を踏まえ、時間帯別料金の多様化や三段階料金の見直し、季節別料金の導入など、供給約款、選択約款の在り方について検討を進めていくことが適当
2. また、スマートメーターの早期導入に向けて規格の標準化を進めるとともに、効率的な調達の見直しからオープンな形で実質的な競争のある入札を行うことが原則

などとされている。

スマートメーターの調達についての議論や、スマートメーターと HEMS の間のインターフェース標準化のとりまとめ結果も踏まえ、東京電力においては、現在、同社が導入を検討しているスマートメーターについて、調達コストの抑制と透明性の向上の観点から、国内外の企業に対し、仕様に係る提案を募集し、専門家の意見も聴きつつ検討を行っているところ。他社においても、本体のみならずシステムも含めた標準的な規格を採用することなどにより、スマートメーター導入に係るコスト低減に努めることが求められると考えている。

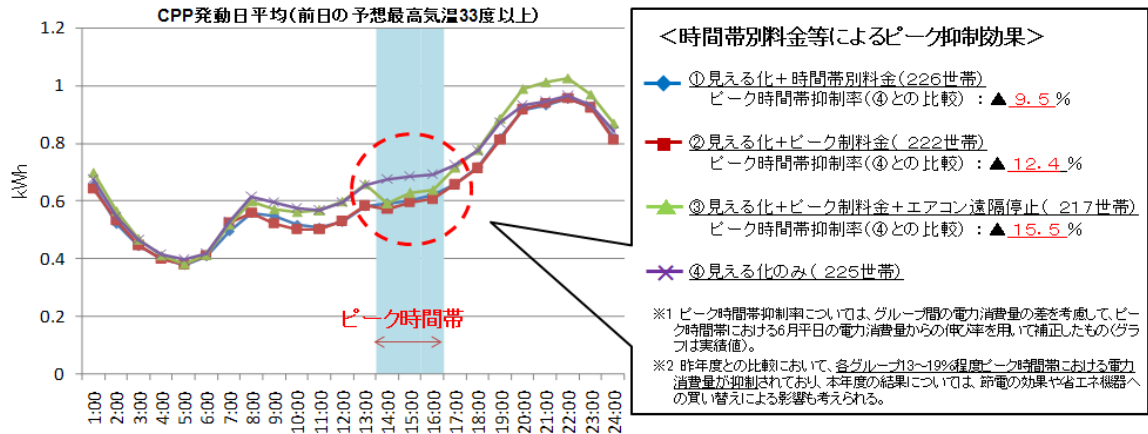
## 4. 負荷平準化機器導入効果実証事業の結果概要

一般家庭における「見える化」による一日当たりの省エネ効果は1割程度と言われているが、経済産業省において実施した、スマートメーター実証事業の結果では「TOU：時間帯別料金」や「CPP：ピーク制料金」といった柔軟な料金メニューにより、域内全体のピーク時間帯（13～16時）において、「見える化」と比較して1割程度のピーク抑制効果が確認された。

なお、柔軟な料金メニューによるピーク抑制効果については、震災後の影響によりベースの需要が昨年比で1割以上低下している状況下においても、有意に働くことが観察されている。

実証事業の結果の詳細については、第11回スマートメーター制度検討会配布資料（経済産業省のWebサイトに掲載）をご覧ください。

<一般家庭の消費電力(H23実証:7~9月平均)>



「時間帯別料金」・・・ピーク時間帯の料金を通常の2倍に設定※実際には、電気料金ではなく、協力金の変動により対応  
「ピーク制料金」・・・緊急ピーク時課金、電力逼迫時※にピーク時間帯の料金を通常の3倍に設定  
※前日における予想最高気温が33度以上の場合

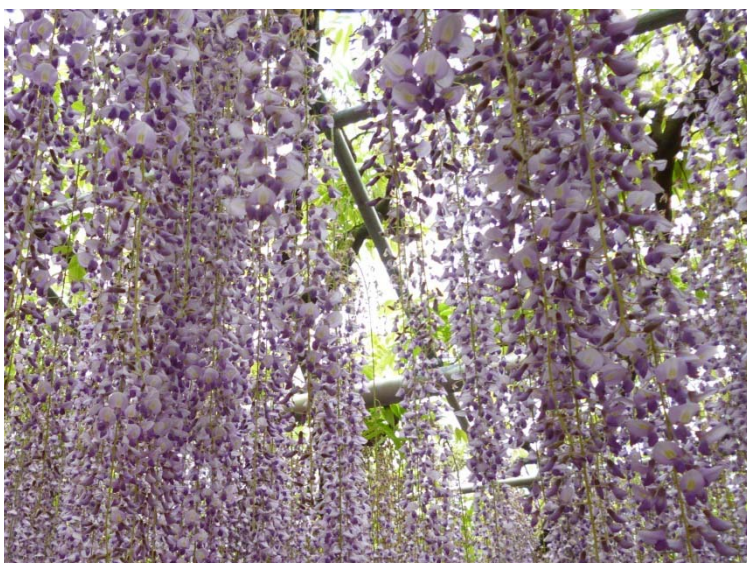
おわりに

今般のスマートメーター導入の機運の高まりを好機として、需要家側における省エネの促進、ピークカット、さらには HEMS 等との連携による多様なサービスの創出など、我が国の将来に資するような先進的な取り組みを実現する観点から、政府においては、これまで述べたような取り組みを行ってきた。今後も、官民における様々な取り組みを適宜フォローアップしながら、政府目標の達成に向け、関係者の協力を得つつ、着実に取り組んでいきたいと考えている。

\* 経済産業省 資源エネルギー庁

電力・ガス事業部 電力市場整備課 課長補佐

(平成 24 年 4 月 26 日に行われた弊協議会定例総会での「記念講演」を載録させて頂きました)





## 第 8 回韓国ガス展 2012 への出展報告

\*土屋 十萬紀

### はじめに

GAS KOREA 2012 は第 8 回を迎え、日本企業の出展（伊藤工機、リンナイ等）もあり歴史あるイベントとしてアジア地域（中国、台湾、ロシア等）に定着しつつあります。テレメータリング推進協議会では、昨年のスマートグリッド展 2011（於：東京ビッグサイト 6 月 15 日～17 日開催）への出展を皮切りに、「集中監視新バージョンの通信仕様（Uバス、Uバスエア）」の展示・デモを事有る毎に PR に専念して参りました。

今年度の最終幕として当展示会に出展し、4 月には I E E E 802 での標準化を迎え一先ずの節目と致したいとの思いであります。

年末からの準備で慌ただしいスケジュールにも関わらず、当協議会の会員の皆様がたの温かいご支援とご協力を頂き、何とか出展を成功裏に終わらせることができました。

厚く御礼申し上げます。

### (1) 開催概要



第 8 回 GAS KOREA 2012 は、以下の通りソウル市内の SETEC（ソウル展覧会場）にて、韓国を中心としたガス関連事業者（供給会社、機器会社、設備システム会社等）58 社が集い、盛大に開催されました。

日程：2012 年 2 月 27 日（月）～29 日（水）

場所：韓国 江南区

ソウル貿易展示コンベンション センター  
SEOUL TRADE EXHIBITION  
CENTER (SETEC)

内容：

- ・主催：GAS KOREA 2012 組織委員会
- ・主管：韓国ガス新聞社
- ・後援：知識經濟部、環境部、韓国ガス公社、韓国ガス安全公社  
韓国ガス連盟、韓国エネルギー機器産業振興会外 15 団体

## (2) テレメータリング推進協議会の特別展示内容



テレメータリング推進協議会は、展示ブースを確保し、小野 博雄団長の指揮の下に、協力各社の団員で設営を行い、展示ブースにおける説明員として会員各社の御協力を頂きました。

更に現地では、従来から関係の

ありました SNTech のコンサルタン

ト チャンさんや、ガスニュース社のカン記者の通訳の助けも借りて、判りやすい説明が実施できたことから、地元ガス事業者の反応は大きく、特にスマート・メーター（超音波ガスメーター）に対する関心を強く感じました。来場者数は3日間の会期中平均して大勢の方がお見えになり、延べ100名以上の来客となりました。

また韓国では、高層マンション（地震が皆無）が多くガス体エネルギーの保安確保特に火災に対する備えは、第一優先であり、集中監視、遠隔制御システムの技術に今後期待が大いに持てそうでした。

### 【テレメータリング推進協議会・展示内容】

- ・テレメータリング推進協議会の紹介パネル
- ・集中監視新バージョン（Uバス、Uバスエア）の説明パネル
- ・超音波メーターの説明パネル、実機展示（矢崎様、東洋GM様、愛知時計様）
- ・マイコンメーター・超音波メーター用デバイスの説明パネル（パナソニック様）
- ・多段中継無線システムの説明パネル、デモ（富士電機様、東京ガス様）

### 【出展支援体制】

No.	役 職	氏 名	会 員	備 考
1	団 長	小野 博雄	理 事	東光東芝メーターシステムズ(株)
2		三木田 裕彦	理 事	岩谷産業(株)
3		多田 祥平		岩谷産業(株)
4	セミナー講師	武居 正彦		富士電機(株)
5		畠内 孝明		富士電機(株)
6		加藤 英男		NTTテレコン(株)
7		甲野 祥子		東京ガス(株)
8	通 訳	千 性 祿(チャン)	(手伝い)	Nenergy Saving Electric Motors
9	通 訳	姜 東 秀(カン)	(手伝い)	Gasnews.com 記者
10	事務局	土屋 十萬紀	専務理事	テレメータリング推進協議会



また、開催初日の2月27日には、セミナー特設会場を設けて「日本におけるスマートメーター化の現状」と題して、武居正彦講師（富士電機㈱マネジャー）により幾多既存資料に加え、チャン氏の韓国語通訳を通じてスライドショーを1時間余り実施し、出席者の地元ガス事業者、報道関係者からの質問も多数あり実のあるセミナーとなりました。セミナー後の展示ブースでも出席者の熱い議論が集中しておりました。

## おわりに

当初盛り上がり欠けるかもしれないといった不安は、日を追うごとに払拭され、出展して良かったという思いで感謝しております。これも当協議会が生み出した成果である「集中監視新バージョン」が、日本国内はもとより、グローバルな質の高い技術である事の証左であるという実感を噛みしめた次第でもありました。

改めて、本展示会出展にご理解とご協力を頂いた会員の皆様に御礼申し上げると同時に、今後の展開に向けた一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。

最後に、今年の「スマートグリッド展 2012（於：東京ビッグサイト 5月30日～6月1日開催予定）」には、引き続き出展する方向で準備致しております。ご期待下さい。

## 第10回定例総会開催模様

\*事務局

開催日時：2012年4月26日（木）15：00～15：30

開催場所：尚友会館ビル 8階（社）尚友倶楽部会議室（霞が関3-3-1）

お陰さまで、ご出席者が増えたため従来の「商工会館 会議室」での開催では手狭になりその近くの尚友倶楽部会議室へ場所を変えての開催でした。（80名以上のご臨席を賜りました。）今回は10回（偶数回）で理事改選を行い、18名理事（他に監事1名計19名）のうち3名の理事（古谷野理事、吉岡理事、服部理事）が退任され、5名の新理事（高比良理事、橋本理事、磯野理事、相馬理事、勝矢理事）が就任されて、20名理事体制となりました。併せて新年度事業計画案並びに予算計画案も無事承認され、総会議事は滞りなく終了いたしました。その後の記念講演、懇親会も盛大に執り行われて18：00散会しました。



新年度理事名簿

	役 職	氏 名		
1	理事長	薦田 康久	再任	電力中央研究所
2	副理事長	村上 満雄	再任	NTT テレコン(株)
3	副理事長	夜野 治好	再任	伊丹産業(株)
4	専務理事	土屋 十萬紀	再任	テレメータリング推進協議会
5	理 事	小野 博雄	再任	東光東芝メーターシステムズ(株)
6	理 事	坂本 佳史	再任	パナソニック(株)
7	理 事	竹澤 裕信	再任	(株)ing コーポレーション
8	理 事	土田 泰秀	再任	東洋計器(株)
9	理 事	河村 哲二	再任	アイレックス(株)
10	理 事	多田羅 能章	再任	アズビル金門(株)
11	理 事	溝口 英嗣	再任	(株)TOKAI
12	理 事	三木田 裕彦	再任	岩谷産業(株)
13	理 事	羅知 孝嘉	再任	(株)TRY24
14	理 事	古沢 肇	再任	東京ガス(株)
15	理 事	山中 唯義	再任	(株)イー・ファミリー
16	理 事	高比良 省三	新任	(株)JA-LPガス情報センター
17	理 事	橋本 仁	新任	矢崎エナジーシステム(株)
18	理 事	磯野 昇	新任	東洋ガスメーター(株)
19	理 事	相馬 伸一	新任	富士電機(株)
20	理 事	勝矢 善弘	新任	協和テクノロジーズ(株)
21	監 事	村岡 清男	再任	(株)石油産業新聞社



協議会行事の報告・お知らせ等

1/24	第 8 回 H E M S 研究部会 場所：尚友会館 時間：13：30～15：30
1/25	GAS KOREA 2012 出展委員会 場所：当事務所 時間：13：30～15：30 ・テレメ協ニュース 新年号 発刊
2/17	欧州スマートコミュニティー視察団反省会 場所：芝弥生会館 時間：18：00～20：00
2/20	第 14 回スマートハウス研究会 場所：エルピーガス協会 時間：14：00～16：00
2/22	第 5 回定例理事会 場所：NTTテレコン(株) 会議室（新社屋へ移転） 時間：15：00～17：00
2/23	第 9 回 H E M S 研究部会 場所：尚友会館 時間：13：30～15：30
2/27～ 2/29	GAS KOREA 2012 出展（別項で概要報告） 場所：ソウルコンベンションセンター（S E T E C）
3/13	第 1 回スマートグリッド展 2012 出展委員会 場所：当事務所 時間：13：30～15：30
3/27	第 10 回 H E M S 研究部会（最終回） 場所：尚友会館 時間：13：30～15：30
4/5	第 15 回スマートハウス研究会 場所：エルピーガス協会 時間：13：30～15：30
4/6	スマートグリッド展 2012 出展者説明会 場所：東京ビッグサイト会議室 時間：14：00～16：00

4/10	第 10 回定例総会運営委員会 場所：当事務所 時間：13:30～15:30
4/13	東京電力のスマートメーター導入に対する通信機能の基本仕様に対する 意見具申ワーキング委員会（4/20 最終締め切り日） 場所：当事務所 時間：10:30～12:00
4/24	第 8 回情報通信審議会（傍聴参加） 場所：総務省第 3 特別会議室 時間：14:30～15:00
4/26	第 10 回定例総会・記念講演・懇親会 場所：尚友会館 ・定例総会 15:00～15:30（理事改選総会） ・記念講演 15:30～16:20 『スマートメーターの最近の動向について』 講師：経済産業省 資源エネルギー庁 電力市場整備課 課長補佐 迫田 英晴氏 ・懇親会 16:30～18:00
4/27	WiSUN OPEN House U-B U S Air デモ出展 場所：品川プリンスホテル 時間：13:00～
5/21	テレメ協ニュース春号編集委員会 場所：当協議会 時間：13:30～
5/23	スマートグリッド展 2012 出展準備最終委員会 場所：当協議会 時間：15:00～
5/24	第 9 回情報通信審議会（傍聴参加） 場所：総務省特別会議室 時間：15:00～17:30
5/30～ 6/1	スマートグリッド展 2012 開催 場所：東京ビッグサイト 東棟 2 ホール SG-20（ブース） 時間：10:00～17:00
6/4	テレメ協ニュース春号発刊

6/7	第1回定例理事会 場所：NTTテレコム(株) 会議室 時間：15:00～
6/末頃	第1回研究部会 場所：尚友会館ビル 8階会議室 時間：13:30～
7/8～ 7/15	北米スマートコミュニティ視察（8日間） ニューヨーク、カンザスシティ、サンフランシスコ 石油産業新聞社・当協議会 共催 《企画協力》東京ガス(株)、(株)サイサン

## 編集後記

大震災から1年余りが経過し各種復興プロジェクトが動きだしている中、被災地支援のさまざまな活動がTV等のメディアで報道され、それを見るにつけ、涙し、時には笑い、やっと明るさが戻ってきたような気がする。例えばペット好きの方々にとっては、大震災によってはぐれた犬や猫が里親に引き取られ、やっと慣れた頃に元の飼い主が判明して引き取られる映像を涙無しに見ることはできないであろうことは容易に推定できる。人間並みにペットを扱う感性をもつ日本人に生まれて良かったと改めて思う。

さて、昨年の6月から10回にわたりHEMS研究部会を開催してまいりましたが、お陰さまで70社を超える会員各位等のご参加をいただき、さまざまな情報の共有化が出来たことは、資源エネルギー庁様、総務省様はじめ、会員各位のご理解とご協力の賜物と感謝しております。

引き続き今年度は「新バージョン各種端末仕様に関する研究部会」を計画し、近々、参加募集を開始しますので奮ってご参加いただけるようお願い申し上げます。（小坂）

追伸：テレメ協ニュースの発刊、展示会開催等に長い間携わってこられました当協議会事務局の槻木沢 輝次氏は本年3月末に雇用契約が終了し、円満退職されました。氏の功績を称え今後のご活躍を期待致したいと存じます。（事務局一同）

会報名： テレメ協ニュース 2012年春号（2012年6月4日発行）  
発行： NPO法人テレメータリング推進協議会発行人 薦田康久  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-6-13 三木虎ノ門ビル  
電話 03-3591-9686 FAX03-6240-4664



URL: <http://www.teleme-r.or.jp> E-mail: [info@teleme-r.or.jp](mailto:info@teleme-r.or.jp)